

ディボーション質問表

28日(日) 先週一週間のディボーションをふり返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

29日(月) 士師記 9:42~57

1. シェケムでの勝利で調子に乗ったアビメレクはどのようなエンディングを迎えていますか(53節)？
2. この事件を導かれている方はだれですか(57節)？

30日(火) 士師記 10:1~18

1. 誰かが何かをするとき、イスラエルは罪から離れ、平穩に暮らすことができていましたか？ 彼らは何をしましたか(1~5節)？
→私にとって、「立ち上がる」とはどういうことだろうか？
2. 罪のサイクルを見ることができます。それは、どのようなものですか？ また神さまのご性質はどのようなのですか(16節)？
→私は士師記時代の人々から何を学べるだろうか？ 今日できる実践は何だろうか？

1日(水) 士師記 11:1~40

1. 士師エフタがどのような人物でしたか？
 - a. 彼の母親の職業は(1節)？
 - b. 彼の育った環境はどうでしたか(2節)？
 - c. 3節で彼は何をしていましたか？
 - d. しかし、神さまは最終的にどのような立場をエフタに与えられましたか(11節)？
2. 34~40節の悲しい物語から何が学べるだろうか？
→「私の祈りの生活はどうだろうか？ 天の父と取り引きするような祈りではないだろうか？」

2日(木) 士師記 12:1~15

1. エフタの戦いと勝利に対して、同じ12部族に属するエフライム人たちは不平をならし、エフタの家族を殺そうとします。エフライム人たちの態度にはどんな本音が隠れていると思いますか。
2. 士師記の中には何人ものリーダーがでてきます。この章ではエフタを始め、イブツァン、エロン、アブドンらが登場しますが、彼らと後の王たちとの違いは何ですか。任命されたわけではないが、神に対して忠実で、自然に頭角を表すリーダー達を尊重していますか。

3日(金) 士師記 13:1~25

1. リーダーを失ったイスラエル人達は再び、40年間ペリシテ人の手に渡されます。主はマノアの妻に使いを送り、妊娠中の子をナシル人として聖別する事を命じます。この子は、後のサムソンです。この聖書箇所から彼とイエスの共通点を探してみてください。
2. 主の使いは、自分のことを「不思議」と名乗りました。これは神の性質を表す言葉でもあります。あなたは最近何か神の不思議を体験しましたか。小さな事でもいいので思い出し、書き記してみましょう。

4日(土) 士師記 14:1~20

1. この箇所では、ペリシテ人に奴隷となっていたイスラエルを解放するためにサムソンを使いました。サムソンの性質の何が神に用いられたと思いますか。あなたの場合どんな性質が用いられるでしょうか。神が用いられるのは画一的な「クリスチャン」ではないことを覚えましょう。
2. 神は、私達が問題に直面できるように、いろいろな方法を用います。サムソンはそれを力で乗り切りました。イエス様の場合はどうだったと思いますか。